

令和5年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 足立 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語、数学、英語）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）

教科に関する調査（国語、数学、英語）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

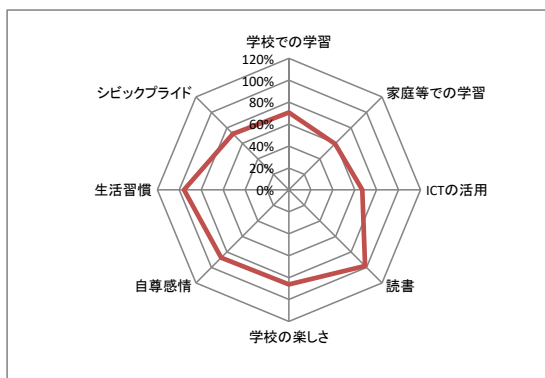
(1) 全国・本市の学力調査（国語、数学、英語）の結果

本年度の結果	国語		数学		英語	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	10.3	69	7.3	49	6.8	40
全国	10.5	70	7.6	51	7.7	45

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の内容「知識及び技能『(1)言葉の特徴や使い方に関する事項』」について、全国を上回ってる。 学習指導要領の内容「知識及び技能『(2)情報の扱い方に関する事項』」について課題がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	文脈に即して漢字を正しく書く問題	
	努力が必要な問題	文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする問題	
数学	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の領域「図形」「データの活用」について、課題がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る問題	
	努力が必要な問題	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題	
英語	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の領域「聞くこと」「読むこと」について、課題がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	文と文との関係を正確に読み取る問題	
	努力が必要な問題	情報を正確に聞き取る問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・読書に親しむ時間について、全国を上回っている。 ・「自分にはよいところがある」など、自尊感情を持つ割合が全国を下回っている。 ・授業におけるICTの活用頻度が全国を大幅に下回っている。 ・「家庭での学習時間」や「自分で計画を立てて勉強する」など、家庭での学習習慣について、全国を大幅に下回っている。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「自分で調べる場面」「ほかの生徒と意見を交換・共有する場面」「自分の考えをまとめ、表現する場面」でのICTの一層の活用を進める。

② 家庭生活習慣等に関する取組

中・長期的な見通しを持ち、夢や目標を見据えて努力できるよう「キャリア教育」を充実させ、その中で、自己肯定感を高め、生涯にわたって学び続けようとする意欲や態度を身に付けさせる。